

令和2（2020）年度 生涯学習・社会教育関係職員研修 実施報告④

実施日：令和2年7月10日（金）

○ 講話「多文化共生の地域づくり」

NPO 法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井 佳彦 氏

土井氏は、日本各地で多文化共生のまちづくりや災害時の外国人支援に関する講演をされています。

講話では、多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め合い対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことであると強調されました。しかし、外国人にとって言葉や制度、心の壁などが大きな障壁となっていることも合わせてお話いただきました。全国や栃木県の国籍別外国人数等のデータもお示しいただき、受講者は業務にあたる上で必要な視点をもつことができたようです。

さらに、多文化共生のまちを目指す新たな取組についても紹介してくださいました。島根県出雲市では、外国人住民の人数の指標を掲げ、誰にとっても住みやすいまちづくりを目指していること、広島県安芸高田市では、多文化共生推進プランを策定し、市民とともに持続可能なまちづくりを進めていることを伺い、受講者はそれぞれの実践の参考になったようです。

全体を通して、多文化共生を起点とした地域づくりの推進をしていく際に必要な知識や情報がたくさん盛り込まれており、最後には多文化共生のまちづくりに対するエールもいただきました。また、画面を通しての質疑応答も受講者の学びを深めることにつながり、今後の取組に対する意欲がさらに高まったようです。



【アンケートより】

- ・現在の外国人の状況がよく分かりました。自治体職員としてどのように対応できるのか改めて考えていきたいです。
- ・外国人の困り感を地域ぐるみで解決していけるとよいと思いました。
- ・多文化共生に対する自分の考えを改める気づきになりました。
- ・リモート講話は、はじめてでしたが、画面でのプレゼンもスムーズでとても分かりやすかったです。
- ・本日の内容を今後の業務に取り組む際の心構えや考え方に生かしていきたいです。
- ・家庭教育支援に携わっているので、外国のお子さんがある家庭への配慮等に生かしたいと思います。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206

e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp